

第1回定例会代表質問

高齢者スマートフォン購入費助成

高齢者の「生活の質の向上」のため、わが会派がスマートフォンの活用支援を提言してきたことを受け、本年度より初めての購入や古い機種からの買い替えをする区内在住の65歳以上の方に最大5万円の購入助成が始まります。購入店舗で実施するスマホ教室に加え、「渋谷区防災アプリ」、デジタル地域通貨「ハチペイ」、デマンド交通「GOエコノミー」など、本区が推奨するアプリの導入と活用支援をスマホサロン等で丁寧に行うよう要望しました。



集中豪雨対策

毎年のように冠水して車が立往生する小田急線の山谷架道橋は、構造上、橋の最下層での排水能力には限界があります。離れた位置から側溝を整備し、橋の下に流れ込む水流を軽減する抜本的な対策を提言するとともに、区内の冠水被害が頻発する他の地域へも同様の整備をするよう要望しました。



幡ヶ谷社会教育館閉館後の対応

本年6月末に閉館する幡ヶ谷社会教育館について、我が会派は1月に区長へ緊急要望書を提出し、特に閉館後から新施設供用開始までの期間における代替施設の確保を強く求めてきました。この要望を受け、区長より旧本町区民施設敷地に仮施設を整備する方針が示されました。整備にあたっては、利用者の意見を十分に聞きながら、調理室等も備えるよう提言しました。



避難所の拡充

国のガイドライン改訂にとともに、災害時における避難所を追加指定して、避難想定人数に対する受け入れ可能数を増強する必要があります。国や都の施設、さらに民間の宿泊事業者などと提携して追加を進めるよう提言しました。また発災時に即時参集できる職員体制を増強するため、防災職員住宅を追加するよう求めました。



夜間の子ども預かり事業

保護者の急な仕事や冠婚葬祭などのニーズに応えるため、宿泊を伴わない夕方から夜間の預かり事業「トワイライトステイ」が開始されます。導入にあたっては、保育園からの送迎や夜間対応などに要する職員体制などを十分に整備するよう求めるとともに、多くの方が利用できるようなルール作りと丁寧な周知を要望しました。



終活サポート事業

元気なうちに、人生の最期についての意思決定や死後の手続きの準備を進めたいと考えている人が増えています。これまでのエンディングノート発行や普及啓発講座に加え、7月から区と社会福祉協議会が連携し、区役所内に終活相談専用窓口を設置します。区民が安心して利用できるよう、民生委員や地域包括支援センター等とも連携して、丁寧に周知していくことを要望しました。



渋谷区議会
自由民主党議員団

渋谷区宇田川町1-1
(議員団控室)

※ 星野愛議員の入党に伴い
4月1日より会派名を変更しました



丸山 隆
文教委員会
官民連携事業調査特別委員会



斎藤 竜一
議員団幹事長・議会運営委員会 委員長
区民福祉委員会
交通・公有地問題特別委員会



一柳 なおひろ
渋谷区議会第77代 議長
総務委員会
自治権確立特別委員会



岡みちる
都市環境委員会
多様性社会推進特別委員会 委員長



松本 翔
総務委員会 委員長
官民連携事業調査特別委員会



岡田 みほ
都市環境委員会
自治権確立特別委員会 副委員長



星野 愛
区民福祉委員会 副委員長
多様性社会推進特別委員会

最大会派として、責任ある区政運営を実現します！

ご意見・ご要望など、お気軽におよせください。TEL.3463-1034 FAX.5458-4960
自民党議員団の活動がHPで閲覧できます

